

2009年3月期 第2四半期 決算説明会

2008年11月13日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI

Mind & Technology

目次

第1部 09/3期(08年度)上期業績

1. 09/3期上期業績のポイント	3
2. 09/3期上期業績	4
3. 主要財務項目	6
4. キャッシュフロー	7
5. 負債資本倍率(D/Eレシオ)	8

第2部 セグメント別業績と事業動向

1. セグメント別業績	10
2. 工業用マシン事業	12
3. 産業装置事業	15
4. 家庭用マシン事業	18
5. 電子・精密機器事業	20
6. 精密鑄造事業	21
7. その他事業	22

第3部 09/3期(08年度)通期業績予想

1. 09/3期(08年度)通期業績予想	24
2. セグメント別通期業績予想	25
3. 08年度特別対策の概要	27

第4部 見直し中期経営計画

(2008-2010)の概要

1. 見直し目標値(2010年度)	29
2. セグメント別見直し目標値	30
[参考]投資(開発投資・設備投資)	32
3. 株主還元の考え方	33

第1部

09/3期(08年度)上期業績

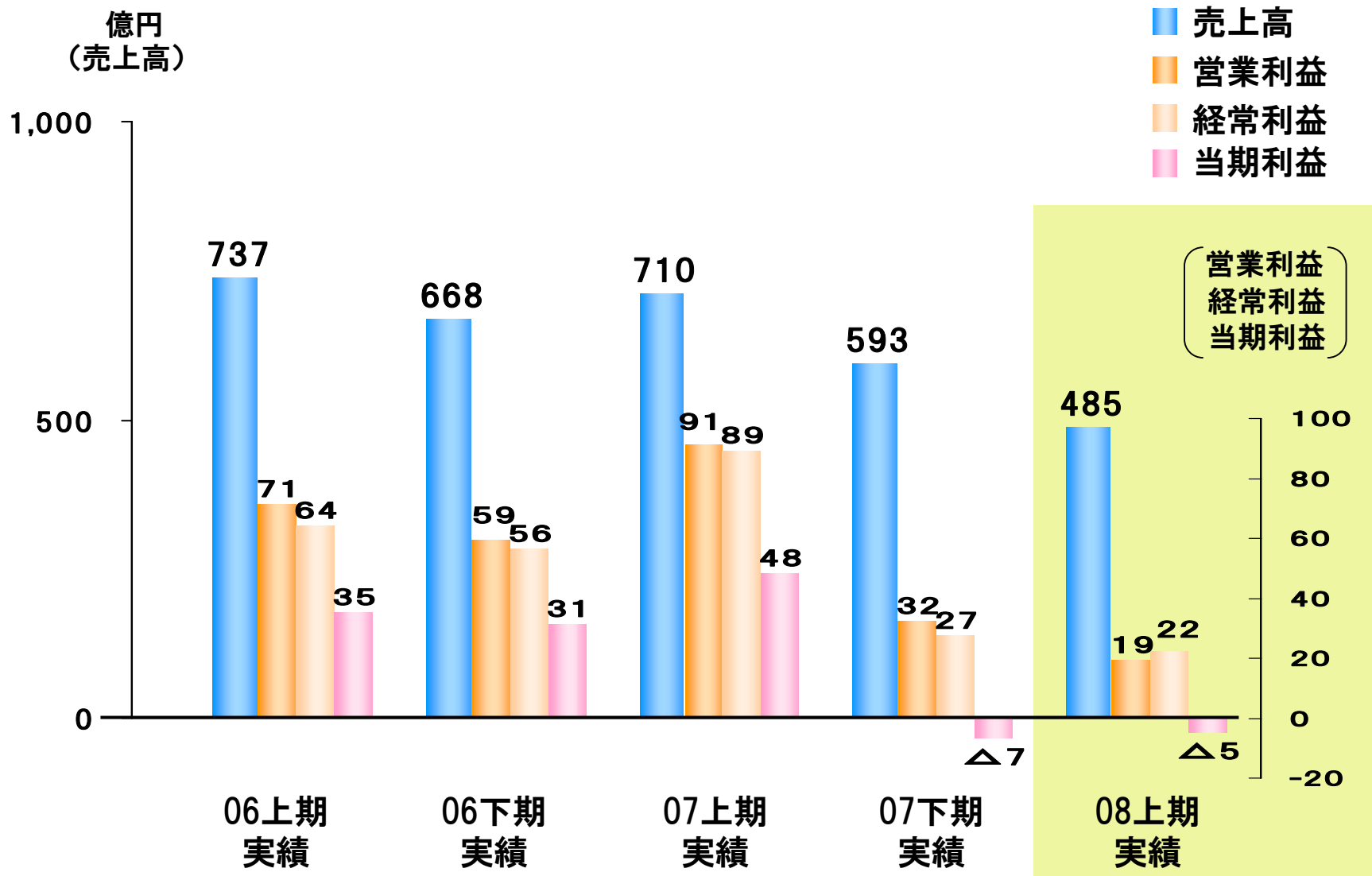
売上高、営業利益とも大幅減少。最終利益は赤字

1. 売上高は全部門で減少し、前期比 $\Delta 18.2\%$ の485億円
2. 営業利益は前期比 $\Delta 41.3\%$ の19億円
(営業利益率 $5.4\% \rightarrow 3.9\%$ $\Delta 1.5\%$)
経常利益は前期比 $\Delta 17.7\%$ の22億円
(経常利益率 $4.5\% \rightarrow 4.5\%$ 増減なし)
3. 当期純利益は特別損失23億円の計上により5億円の赤字
[特別損失の内訳]
 - ・家庭用ミシンの事業縮小(国内工場閉鎖含む)により17億円
 - ・棚卸資産の評価基準変更により4億円
4. 中間配当は計画通り5円/株を実施。期末配当は見送りの方向

単位:百万円

	07上期 実績 (利益率)	07下期 実績 (利益率)	08上期 実績 (利益率)	07下期比 増減額	07下期比 増減率
売上高	71,024	59,327	48,531	△10,796	△18.2%
営業利益	9,148 (12.9%)	3,204 (5.4%)	1,881 (3.9%)	△1,323	△41.3%
経常利益	8,862 (12.5%)	2,654 (4.5%)	2,183 (4.5%)	△471	△17.7%
(特別損失)	(△100)	(※△3,830)	(△2,347)	(1,483)	(38.7%)
当期純利益	4,847 (6.8%)	△721 (△1.2%)	△518 (△1.1%)	203	28.2%
配当	5円/株	5円/株	5円/株	±0円/株	—

※事業撤退に伴う特別損失38億円（訪問販売事業関連で25億円、米国の工業用マシン生産子会社にかかわる為替換算調整勘定の振替で13億円）



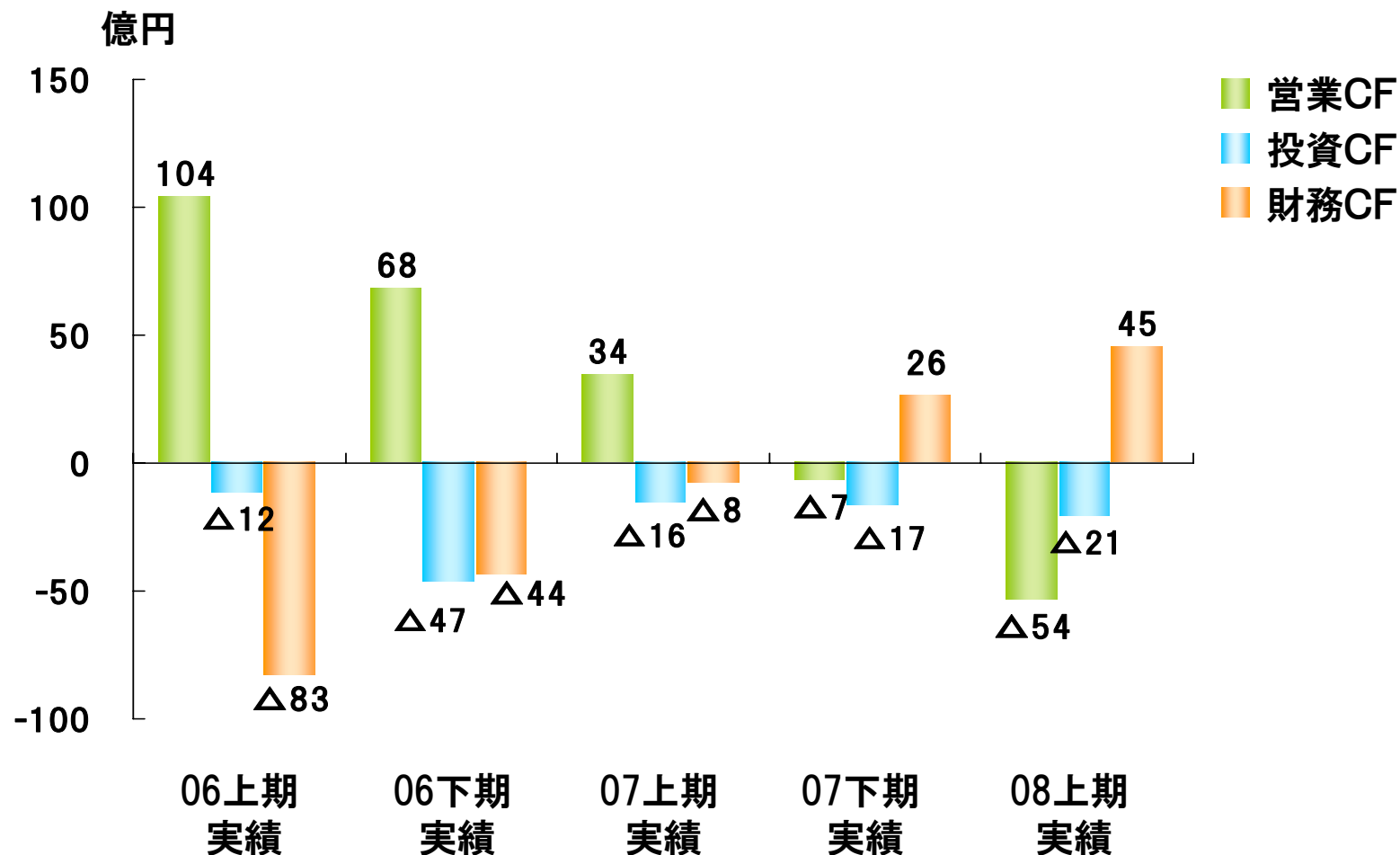
総資産は52億円減少したが、純資産22億円減もあって、有利子負債は52億円の増

単位:百万円

	07上期末 実績	07下期末 実績	08上期末 実績	07下期末比 増減額	07下期末比 増減率
総資産	117,838	117,635	112,407	△5,228	△4.4%
在庫	38,463	42,240	42,885	645	1.5%
有利子負債	37,875	40,994	46,191	5,197	12.7%
純資産	38,522	37,100	34,889	※△2,211	△6.0%
(自己資本比率)	(32.4%)	(31.3%)	(30.7%)	(一)	(一)

※純資産△22億円の内訳(為替換算調整勘定△10億円、
配当△7億円、利益△5億円)

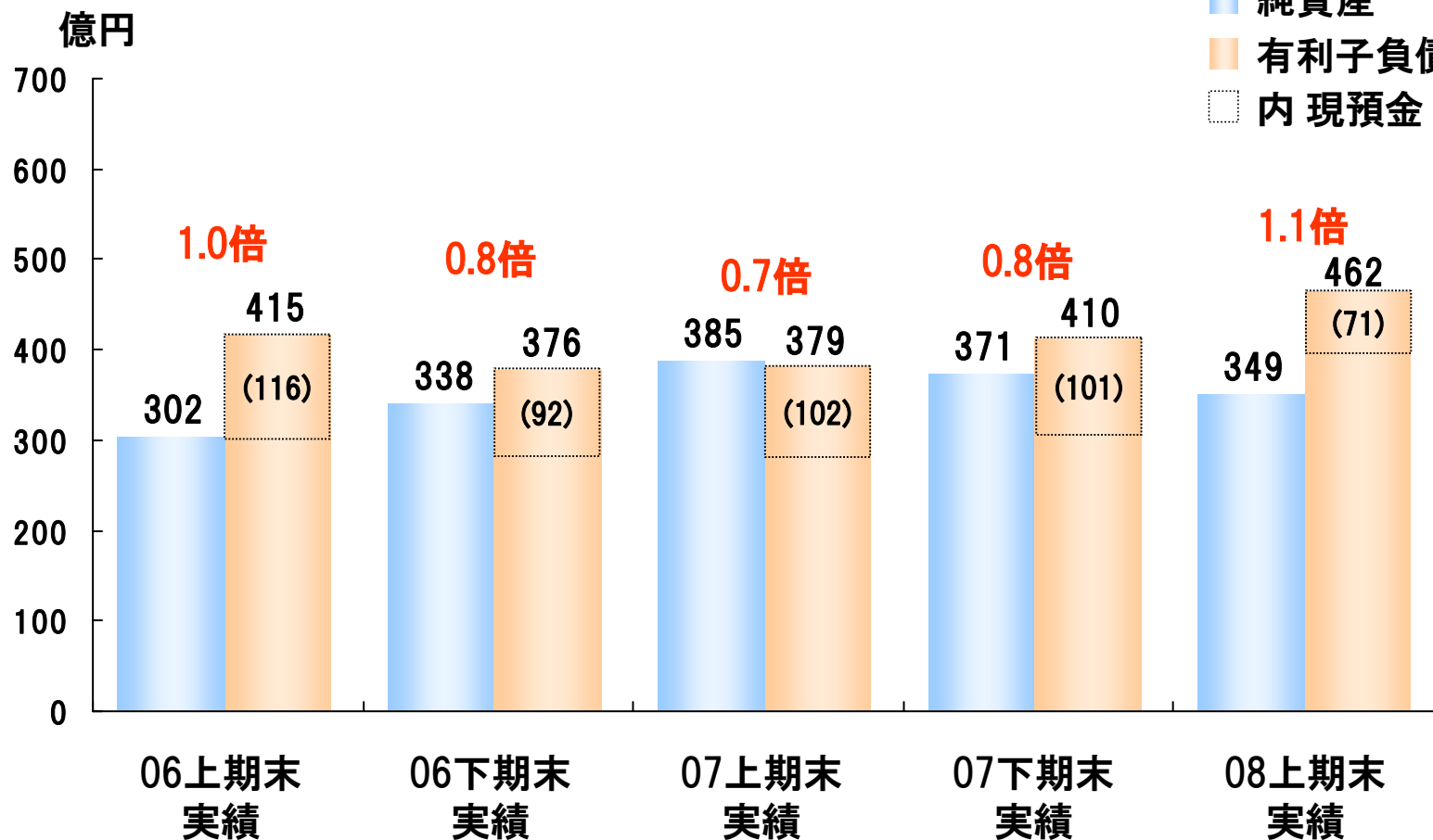
仕入債務30億円減、訪問販売関連未払金19億円減等により、
営業CFは54億円のマイナス



D/Eレシオは1倍超に

赤字 D/Eレシオ

- 純資産
- 有利子負債
- 内 現預金



第2部

セグメント別業績と事業動向

**前期比、全部門が減少。工業用マシンは前年同期比31.7%
 (△132億円)の大幅減少**

単位:百万円

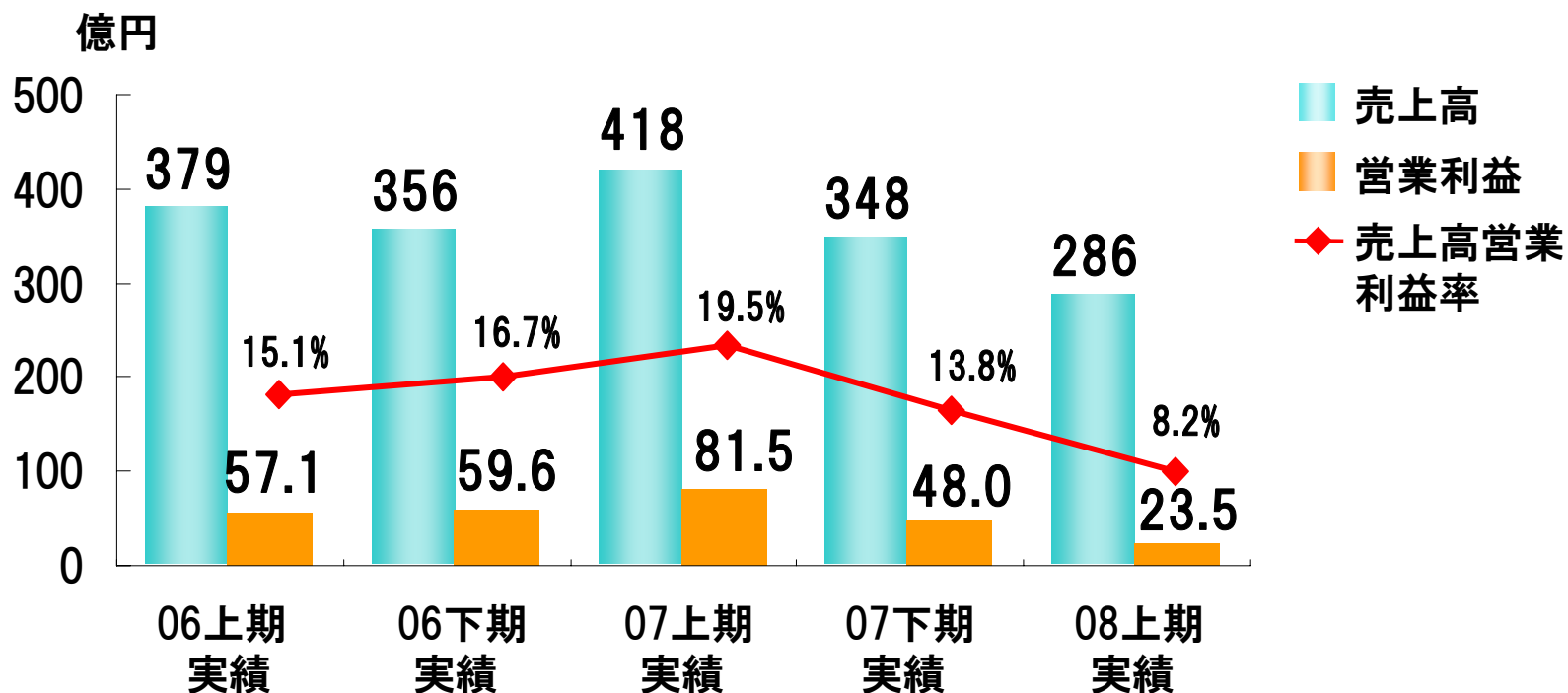
	07上期 実績	07下期 実績	08上期 実績	07上期比 増減率	07下期比 増減率
工業用マシン	41,817	34,808	28,568	△31.7%	△17.9%
産業装置	14,944	14,868	12,590	△15.8%	△15.3%
家庭用マシン	3,569	2,414	1,297	△63.7%	△46.3%
電子・精密機器	6,117	3,479	3,196	△47.8%	△8.1%
精密鑄造	2,112	1,934	1,933	△8.5%	△0.1%
その他	2,462	1,824	945	△61.6%	△48.2%
売上高合計	71,024	59,327	48,531	△31.7%	△18.2%

前期比、工業用マシンが大幅減少、産業装置は改善、 家庭用マシンの赤字は縮小

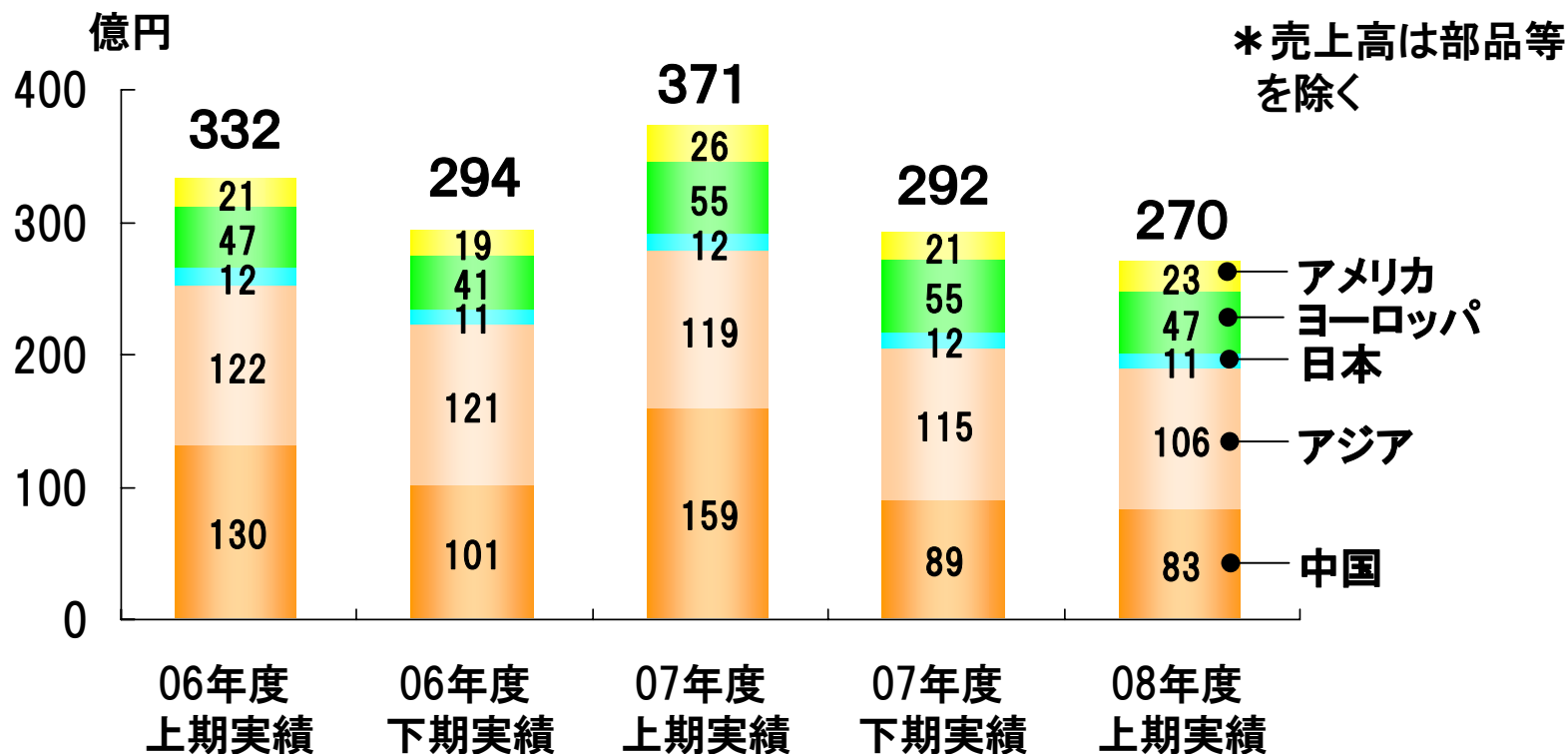
単位：百万円

	07上期 実績	07下期 実績	08上期 実績	07上期比 増減率	07下期比 増減率
工業用マシン	8,152	4,795	2,348	△71.2%	△51.0%
産業装置	1,827	151	930	△49.1%	515.9%
家庭用マシン	△700	△1,075	△926	△32.3%	13.9%
電子・精密機器	422	293	332	△21.3%	13.3%
精密鑄造	99	66	92	△7.1%	39.4%
その他	33	△317	△120	—	62.1%
(消去)	△686	△708	△774	△12.8%	△9.3%
営業利益合計	9,148	3,204	1,881	△79.4%	△41.3%

07上期をピークに、売上高・営業利益とも減少



中国は前年同期比半減。アジア、ヨーロッパも減少



**ダイレクトドライブ
高速本縫自動糸切りミシン**
[鳥の巣防止仕様]

DDL-9000A-DS/PBN
(2008年4月発売)



縫い始めの鳥の巣(糸の絡まり)を無くし、縫い終りの糸残り量を短くして製品の縫い品質を更に向上

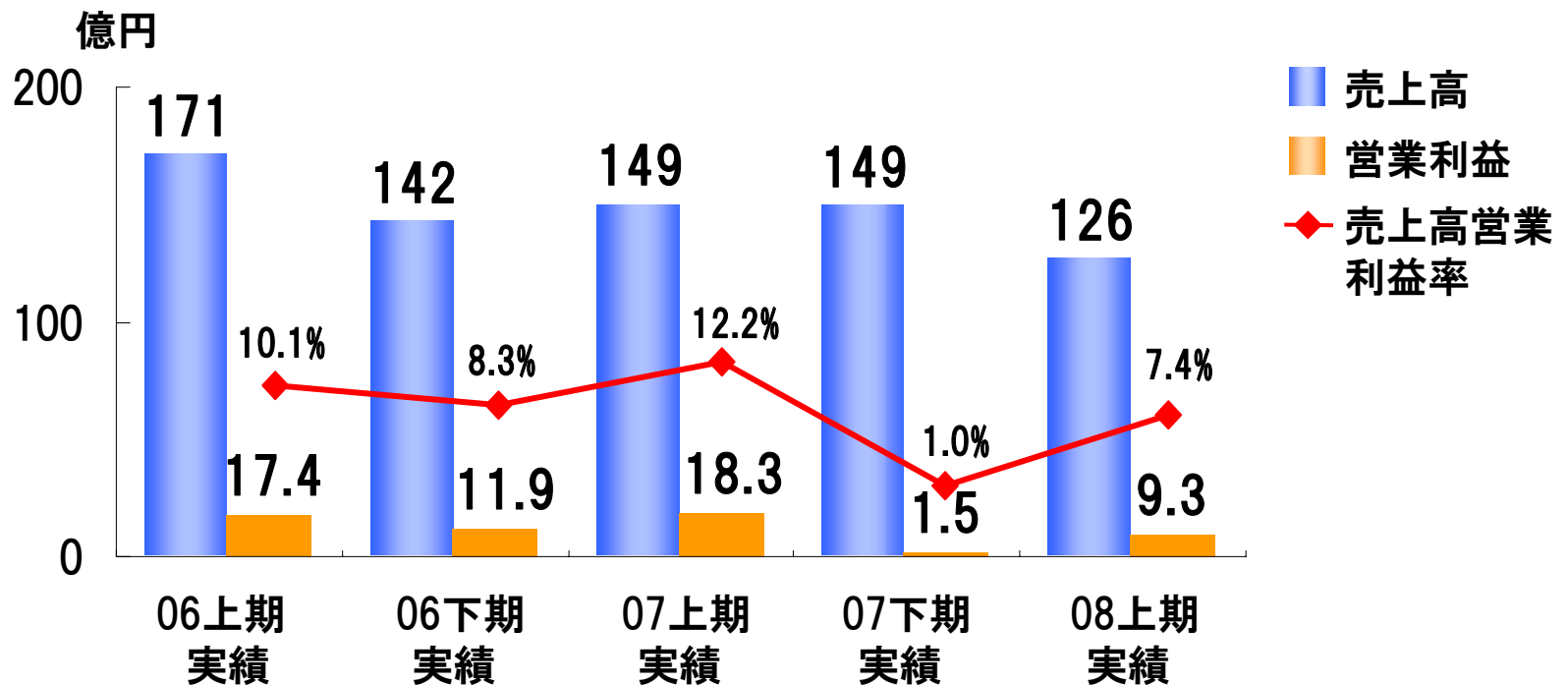
**入力機能付き
電子サイクルマシン**

AMS-224Eシリーズ
(2008年末発売予定)



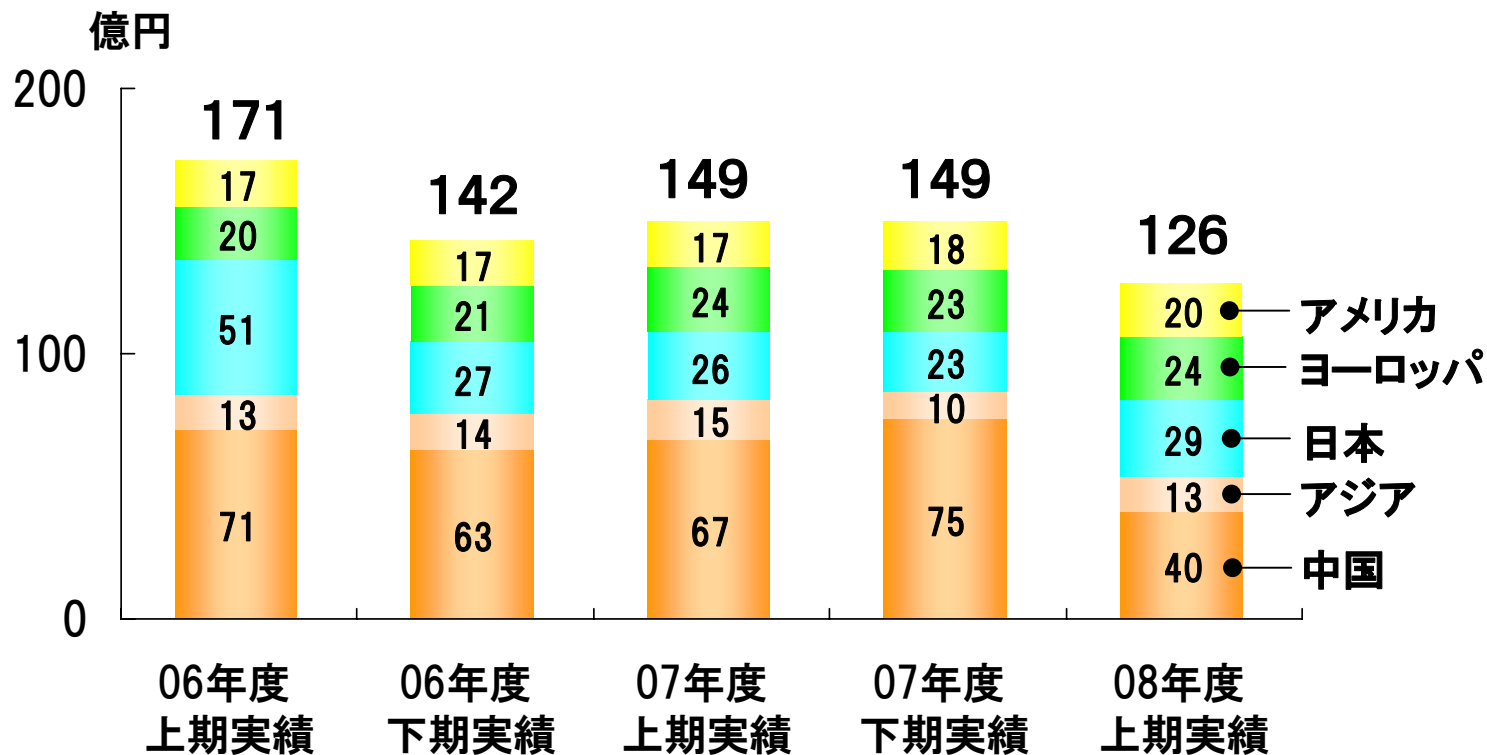
高い縫い品質と生産性、操作性に加え、省エネも実現した大型エリア用電子サイクルマシン

売上高は減少。営業利益は前期比改善



開発費縮小等により営業利益は改善

中国は前期比半減。日本、アメリカは増加



高速マウンタFX-3 (2008年5月発売)

* CPH:1時間当たりの搭載点数

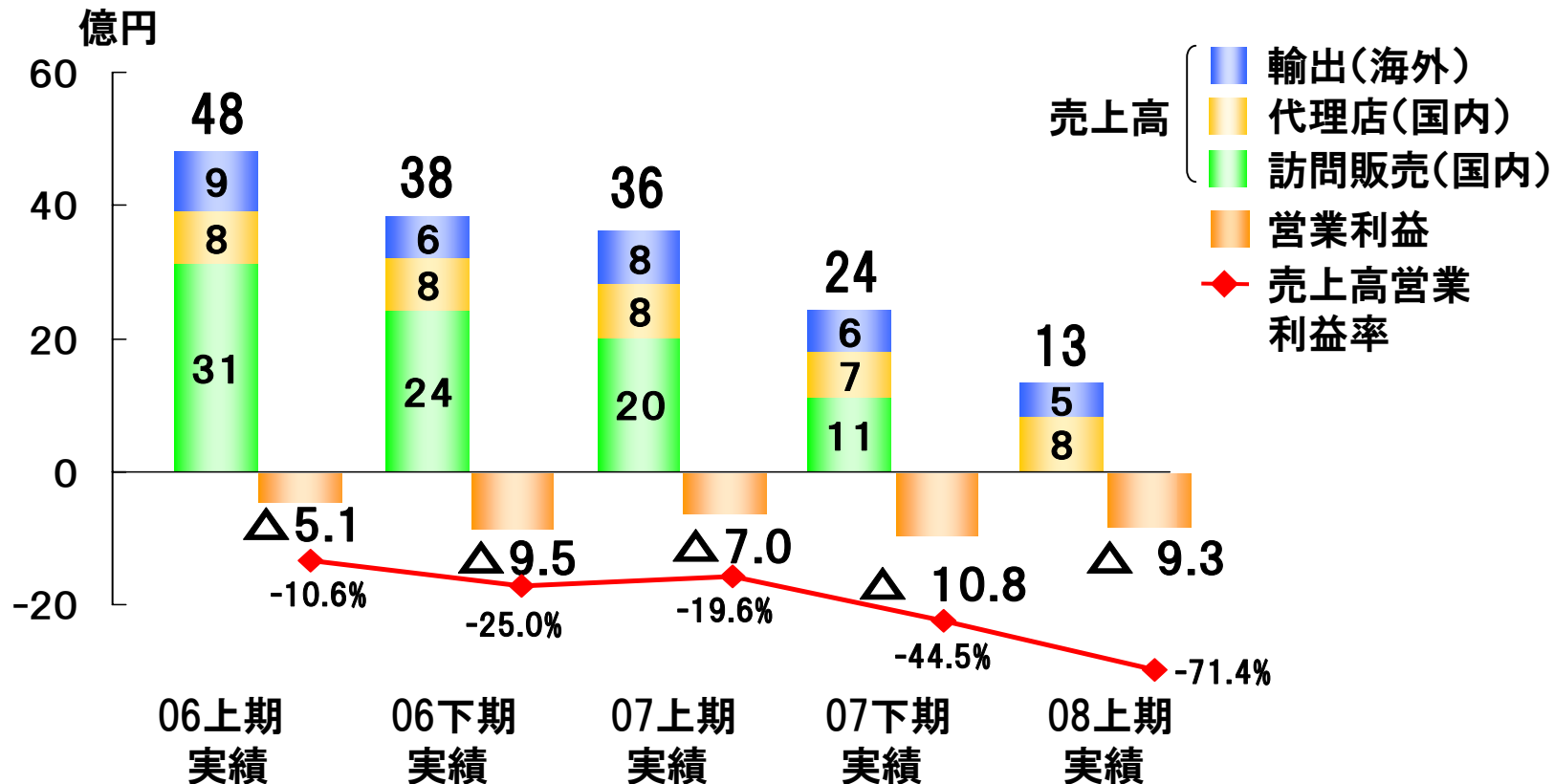


1. チップ部品搭載速度60,000CPH
(最適条件時74,000CPH)を実現
2. 最小部品サイズ(0.4mm×0.2mm)
～33.5mmまで対応

高速モジュラーマウンタFX-2 (2008年12月発売予定)

1. チップ部品搭載速度30,000CPH
(最適条件時40,000CPH)を実現
2. 最小部品サイズ(0.4mm×0.2mm)
～33.5mmまで対応

訪問販売撤退により売上高減少



訪問販売の赤字は解消したが、事業縮小の効果は08下期にずれ込み

2010年度での黒字化を目指し、事業体制を大幅に縮小。 08下期赤字は、08上期対比5分の1以下に削減

組織のスリム化

家庭用ミシン事業部を廃止

- ⇒①家庭用ミシン部(海外営業主体)を新設(08年10月1日)
- ⇒②開発人員も60%縮小し、中央技術研究所へ移管

生産体制の縮小

JUKI広島(株)深川工場を閉鎖(08年10月31日)

- ⇒①家庭用ミシンの生産は中国工場へ集約
- ⇒②深川工場跡地は近く売却

販売・サービス体制 のスリム化

JUKI家庭用ミシン販売(株)を設立(08年10月1日)

- ⇒国内販売・サービス(修理)機能を集約し、体制を縮小

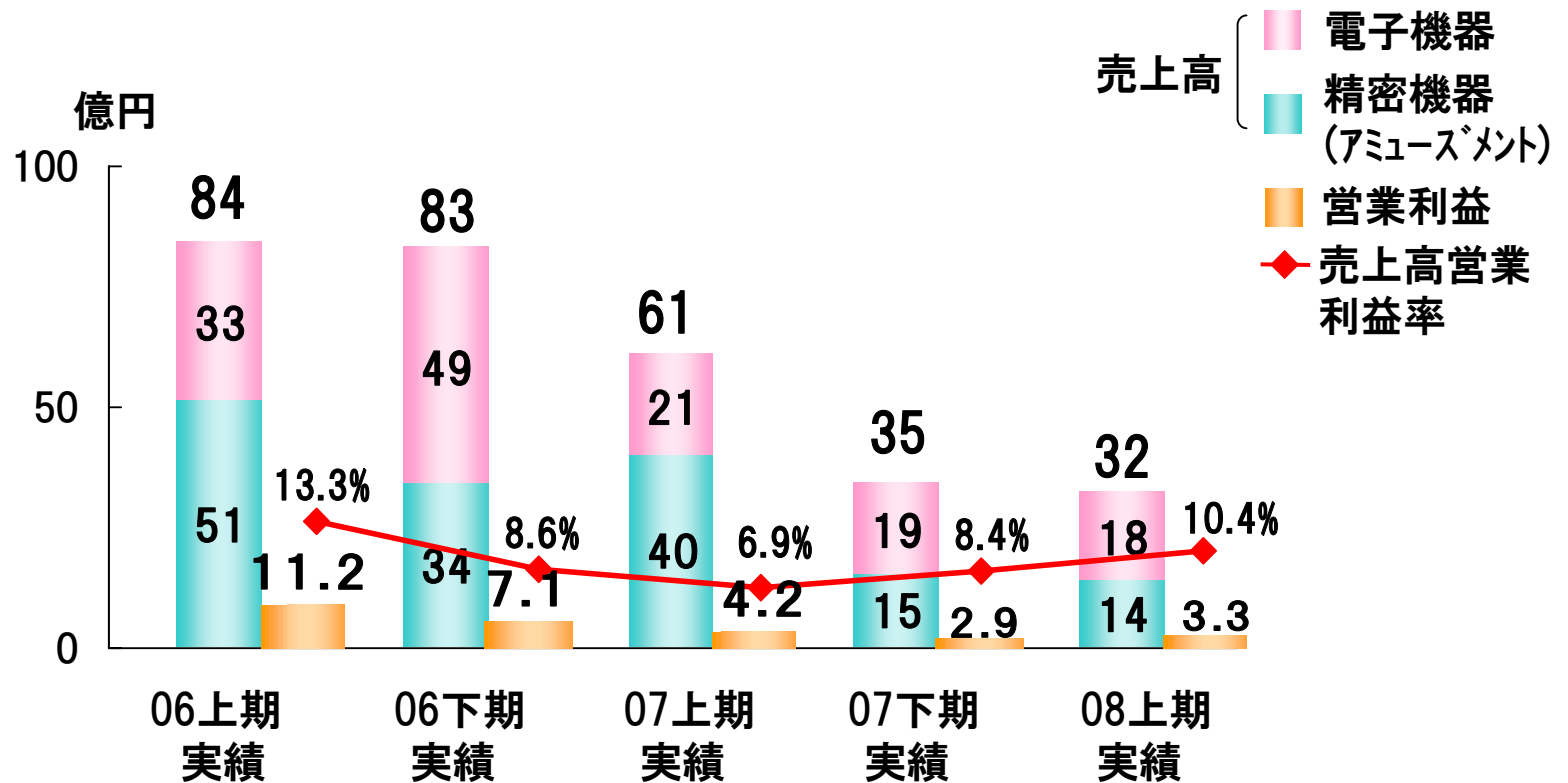
販売拠点：7支店→5支店

サービス(修理)拠点：2拠点→1拠点

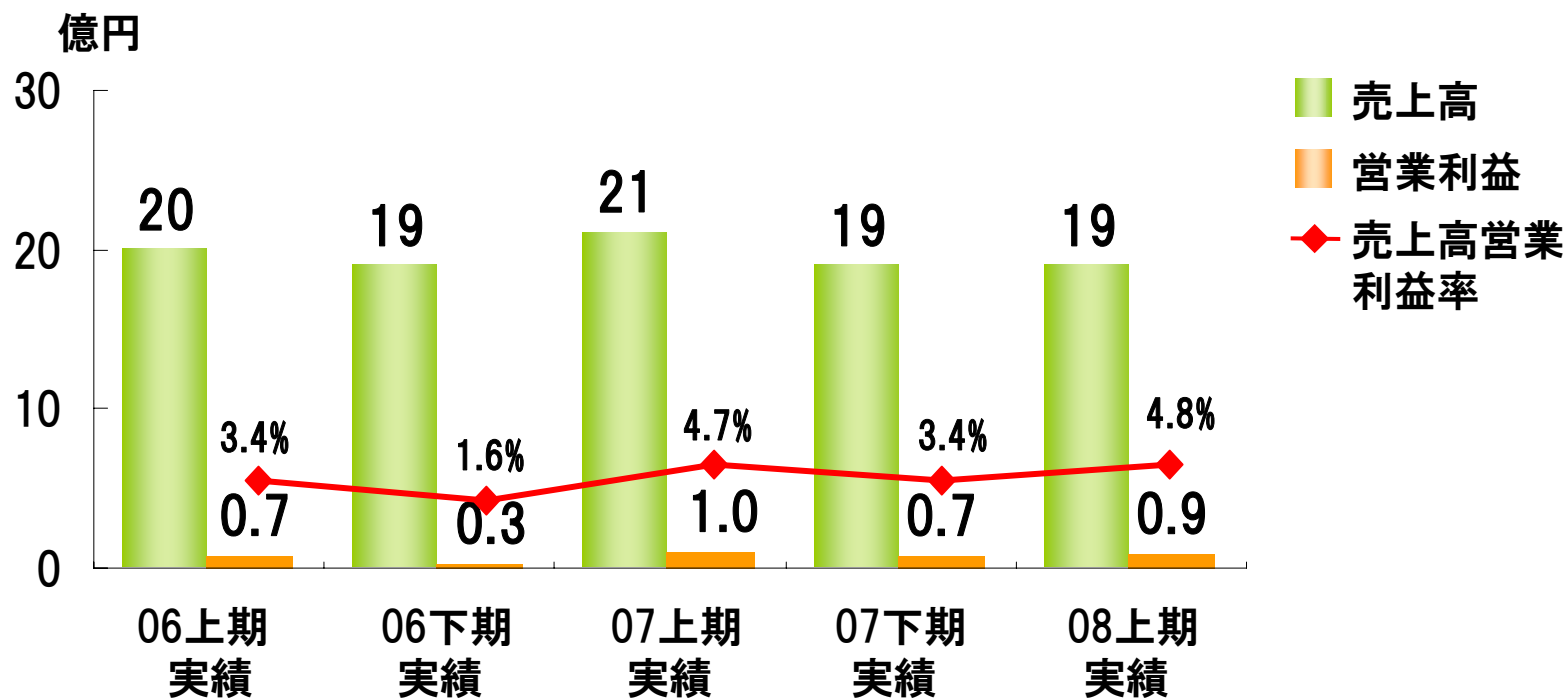
JUKI家庭製品お客様センター(株)を縮小

138人→7人

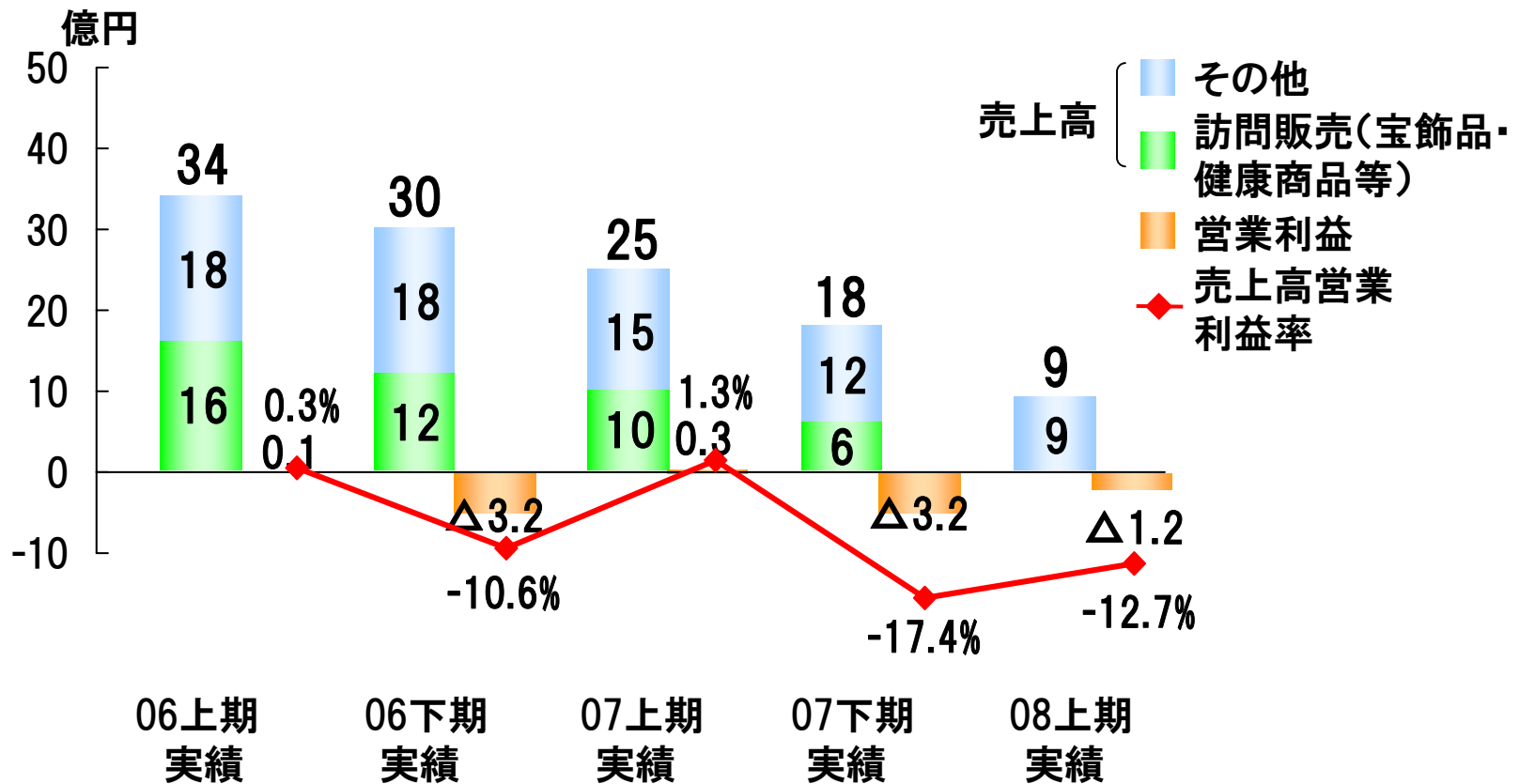
売上高は減少。利益は改善



売上高は横這い。収益性の改善が課題



訪問販売撤退により売上高は減少。赤字幅は縮小



第3部

09/3期(08年度)通期業績予想

急激な環境変化を背景に、売上高は8/8修正予想比さらに縮小。
円高もあって営業利益段階で赤字に転化

単位:百万円

	5/20 当初予想 (A)	8/8 修正予想 (B)	今回 修正予想 (C)	(C-A)	(C-B)
売上高	120,000	111,000	90,000	△30,000	△21,000
営業利益	8,000	4,200	△1,800	△9,800	△6,000
経常利益	7,500	4,500	△2,000	△9,500	△6,500
当期純利益	4,500	2,000	△4,000	△8,500	△6,000
為替レート	1ドル:100円 1ユーロ:155円	1ドル:107円 1ユーロ:160円	1ドル:100円 1ユーロ:130円	1ドル:0円 1ユーロ:△25円	1ドル:△7円 1ユーロ:△30円

工業用マシン、産業装置とも、上期対比さらに減少

単位：百万円

	今回 修正予想 (A+B)	08上期 実績 (A)	08下期 予想 (B)	(B-A)
工業用マシン	51,300	28,568	22,732	△5,836
産業装置	23,800	12,590	11,210	△1,380
家庭用マシン	2,700	1,297	1,403	106
電子・精密機器	6,500	3,196	3,304	108
精密鑄造	4,100	1,933	2,167	234
その他	1,600	945	655	△290
売上高合計	90,000	48,531	41,469	△7,062

産業装置は通期で赤字転化。工業用マシンは下期に赤字転化

単位:百万円

	今回 修正予想 (A+B)	08上期 実績 (A)	08下期 予想 (B)	(B-A)
工業用マシン	1,100	2,348	△1,248	△3,596
産業装置	△200	930	△1,130	△2,060
家庭用マシン	△1,100	△926	△174	752
電子・精密機器	500	332	168	△164
精密鑄造	200	92	108	16
その他(消去含む)	△2,300	△894	△1,406	△512
営業利益合計	△1,800	1,881	△3,681	△5,562

役員賞与は当面支給しないこととし、生産体制や投資の縮小等全計画の見直しを実施。家庭用ミシン事業は上期に前倒し縮小

1. 中期経営計画の見直し

(1) 売上高、利益計画を大幅に下方修正

(2) 投資(3ヵ年計)：当初計画を△20%縮小(530億円→420億円)

- ① 開発 266億円 → 213億円 (△53億円)
- ② 生産設備 101億円 → 59億円 (△42億円)
- ③ 情報 23億円 → 20億円 (△ 3億円)
- ④ 新社屋 134億円 → 124億円 (△10億円)

2. 組織・人員体制：製造、開発、間接部門の人員を縮小。販売体制は再編
製造部門実働人員は、08年度に約1,300人(△20%)を削減

3. その他：従業員の賞与削減等、あらゆる経費削減を推進

第4部
見直し中期経営計画(2008-2010)
の概要

売上高、利益とも大幅に下方修正

目標項目	当初目標値 (2010年度) [07/11/22発表]	見直し目標値 (2010年度)	増減額	増減率
売上高	1,600億円	1,110億円	△490億円	△30.6%
営業利益	170億円	36億円	△134億円	△78.8%
経常利益	160億円	26億円	△134億円	△83.8%
為替レート	1ドル=110円 1ユーロ=145円	1ドル=100円 1ユーロ=130円	1ドル=△10円 1ユーロ=△15円	

(単位:億円)

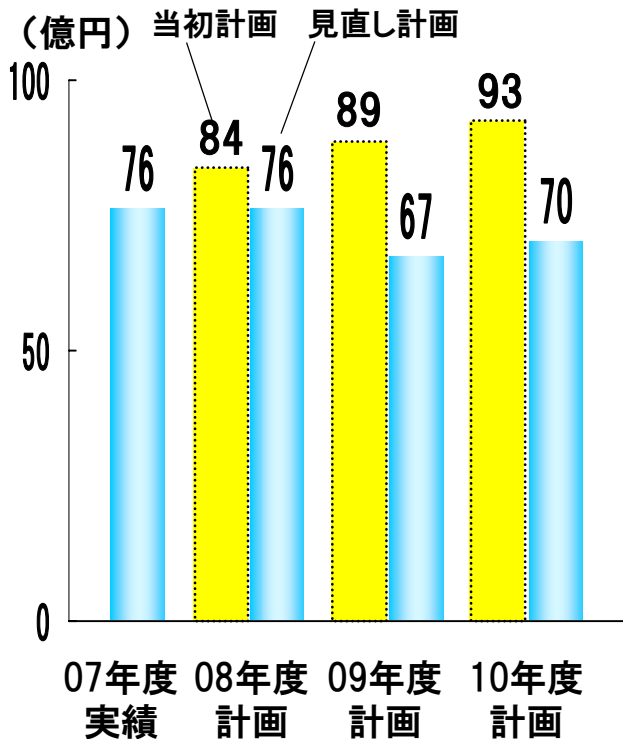
	2007年度実績 (A)	当初目標値 (2010年度) (B)	見直し目標値 (2010年度) (C)	増減額 (C-A)	増減額 (C-B)
工業用マシン	766	900	600	△166	△300
産業装置	298	450	340	42	△110
※家庭用マシン	60	60	37	△23	△23
電子・精密機器・ ※その他	139	140	82	△57	△58
精密鑄造	41	50	51	10	1
売上高合計	1,304	1,600	1,110	△194	△490
※うち訪問販売 合計	47	0	0	△47	0

(単位:億円)

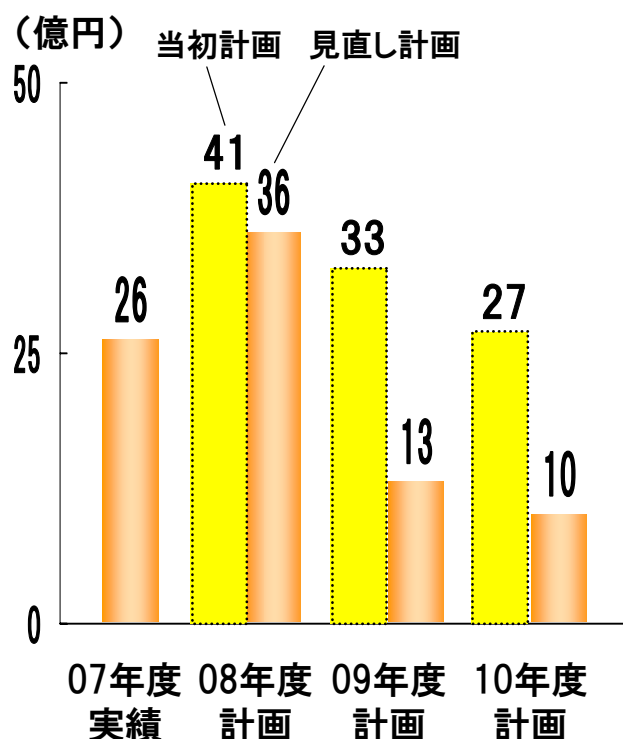
	2007年度実績 (A)	当初目標値 (2010年度) (B)	見直し目標値 (2010年度) (C)	増減額 (C-A)	増減額 (C-B)
工業用マシン	129	150	32	△97	△118
産業装置	20	40	16	△4	△24
※家庭用マシン	△18	3	0	18	△3
電子・精密機器・ ※その他(消去含む)	△9	△27	△15	△6	12
精密鑄造	2	4	3	1	△1
営業利益合計	124	170	36	△88	△134
※うち訪問販売 合計	△5	0	0	5	0

当初計画を大幅に縮小

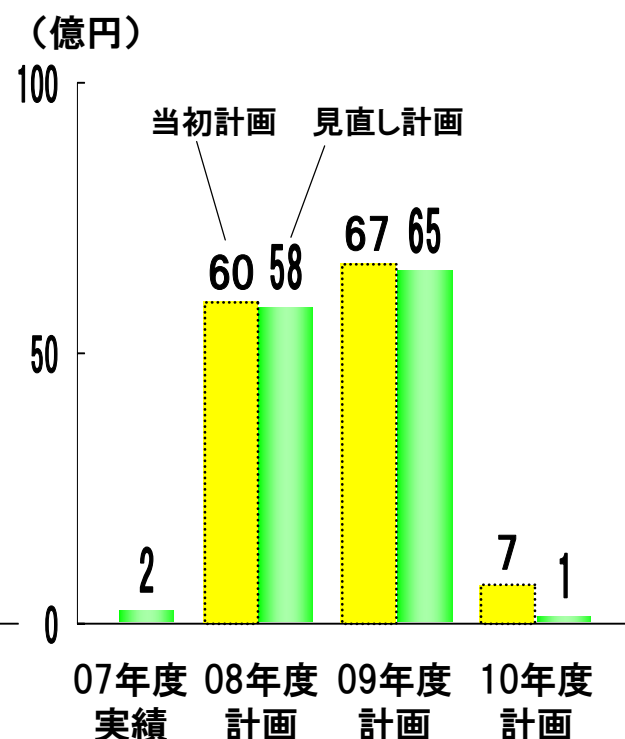
開発



生産設備 (取得ベース)



新社屋 (取得ベース)



1. 08年度の配当

- ・中間配当は、予定通り5円/株を実施
- ・期末配当については、見送りの方向

2. 配当に関する基本方針

- ・財務基盤の充実を図りつつ、株主様への利益還元
に努めてまいります

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :03-3480-1957 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>